



平成19年5月11日

各 位

会 社 名 トーヨーカネツ 株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 清田 重昭
 (コード番号 6369 東証第一部)
 問 合 せ 先 上席執行役員経理部長 藤吉 昭二
 (TEL 03-5857-3333)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月16日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成19年3月期 個別通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月16日発表)	24,300	2,110	1,600
今回修正予想(B)	22,900	2,070	1,740
増減額(B - A)	1,400	40	140
増減率	5.8	1.9	8.8
前期(平成18年3月期)実績	20,586	1,171	722

2. 平成19年3月期 連結通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月16日発表)	47,800	2,810	2,870
今回修正予想(B)	45,500	2,450	2,830
増減額(B - A)	2,300	360	40
増減率	4.8	12.8	1.4
前期(平成18年3月期)実績	45,530	2,132	1,625

3. 修正の理由

個別通期業績予想数値の修正について

売上高は、機械・プラント事業における海外工事案件の一部について、検収時期の期ずれが生じるため当初予定を若干下回る見込みですが、完成予定工事の原価率の改善が見込まれることもあり、経常利益はほぼ当初の予想どおりとなる見込みです。なお、特別損失として、子会社等に対する貸倒引当金繰入額が921百万円、および将来発生する可能性のある偶発損失に備えた偶発損失引当金繰入額638百万円等が発生する見込みですが、関係会社株式の償還益227百万円、および子会社への貸倒引当金戻入額83百万円等を特別利益に計上すること、また今後も業績が安定的に推移し、短期的な将来減算一時差異については回収可能性が高く、繰延税金資産を計上することが妥当であるとの判断に基づき、法人税等調整額を937百万円見込むことにより、当期純利益につきましては当初の予想を若干上回る見込みです。

連結通期業績予想数値の修正について

売上高は、個別通期業績修正の理由に加え、物流システム事業においても工事案件の一部について検収時期の期ずれが生じるため、当初予定を若干下回る見込みです。また、経常利益につきましても、機械・プラント事業における海外子会社の工事原価の増加等が影響し、当初の予想を若干下回る見込みです。なお、特別損失として偶発損失引当金繰入額638百万円、貸倒引当金繰入額108百万円等の計上が見込まれますが、固定資産売却益199百万円、および関係会社株式の償還益128百万円等を特別利益に計上すること、また繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を947百万円見込むことにより、当期純利益につきましてはほぼ当初の予想どおりとなる見込みです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により当該予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上